

会告 No.5

2022

◇通知・案内事項

○化学工学会第53回秋季大会開催案内・講演募集……………本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会	9/14～16(信州大学)	3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会		9/11～13(福岡大学)
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会告ページ
2022年5月 May			
16	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(5/16, 17, 23, 24)(オンライン)	5月10日(火) 9:00	4号9
18	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(5/18, 25)(オンライン)	5月11日(水) 9:00	4号10
26	「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(オンライン)	5月19日(木) 9:00	4号10
27	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(オンライン)	5月20日(金) 9:00	4号11
30～31	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	5月20日(金)	4号11
2022年6月 June			
1～3	「反応器の設計」講座(東京都)	5月24日(火)	4号12
9～10	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(オンライン)	6月10日(金) 9:00	4号12
14	LOPA翻訳発刊記念講演会(オンライン)		本号7
16	第12回ファインバブル技術講習会「化学工学分野におけるファインバブル研究の進展」(オンライン)		本号7
20	第15回機器分析講習会(オンライン)	6月6日(月)	本号8
20～21	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	6月10日(金)	4号12
20～21	第28回化学安全講習会(大阪府)	6月3日(金)	4号17
22～24	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	6月14日(火)	4号13
2022年7月 July			
1	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(7/1, 4)(オンライン)	6月24日(金) 9:00	4号9
2	第59回化学関連支部合同九州大会(福岡県)		3号10
6～8	「P&IDの作り方」講座(東京都)	6月28日(火)	4号13
21～22	第46回 基礎化学工学演習講座(第1クール)(愛知県/オンライン)	7月8日(金)	4号16
25～26	「プラント計装制御-2」講座(東京都)	7月15日(金)	4号14
25～27	第46回 基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)	7月11日(月)	4号16
28	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編 (7/28, 29, 8/1)(オンライン)	7月21日(木) 9:00	4号9
2022年8月 August			
20	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(水)	4号5

24	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(8/24, 26, 31, 9/2) (オンライン)	8月22日(月) 9:00	4号14
25	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(8/25, 9/1)(オンライン)	8月22日(月) 9:00	4号15
2022年9月 September			
14~16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)	6月15日(水)	本号5
2022年10月 October			
1	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月31日(水) 13:00	4号5
15	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)	6月30日(木)	4号5

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
6月19~23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
6月19~23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+)(京都府)		6号8
8月中旬で調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		
10月25~28日	「第6回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2022)」 The 6th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems(IMPRES2022)		4号16

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日~ 2023年3月31日 (金~金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
2022 International Conference on Electronics Packaging (ICEP 2022)(北海道/オンライン)	5月11~14日 (水~土)	一般社団法人エレ クトロニクス実装 学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2022@jiep.or.jp http://jiep.or.jp/icep/index.html
第178回講演会(東京都/オンライン)	5月13日(金)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
海水資源・環境シンポジウム2022(オンライン)	5月18日(水)	日本海水学会 海水 資源・環境研究会	0465-47-3161 (0465-48-6242) shigen@swsj.org https://www.swsj.org/research/index.html
第59回日本伝熱シンポジウム(岐阜県)	5月18~20(水~金)	公益社団法人日本 伝熱学会	058-293-2532 (058-293-2532 or 2491) symp2022@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2022/index.html
第243回西山記念技術講座 「基礎から振り返る先端鉄鋼材料学」(東京都)	5月20日(金)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	03-3775-9533 (03-3775-9534) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama243.html

塗料講演会「各種塗料の最新動向(環境)」 (東京都/オンライン)	5月20日(金)	色材協会	03-3443-2811 (03-3443-3699) admin@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
腐食防食部門委員会 第342回例会(大阪府)	5月23日(月)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimuj@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第9回 SBJ シンポジウム - 未来の生物工学の新たな潮流をつくる - (オンライン)	5月25日(水)	日本生物工学会	06-6876-2731 (06-6879-2034) sympo@sbj.or.jp https://www.sbj.or.jp/event/sbj_sympo_20220525.html
第2回マルチスケールマテリアルモデリングシンポジウム (第7回マルチスケール材料力学シンポジウム)(大阪府)	5月29～31日 (日～火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimuj@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第27回 計算工学講演会(秋田県)	6月1～3日(水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jcses.org https://www.jcses.org/koenkai/27/
日本コンピュータ化学会2022春季年会 (20周年記念シンポジウム)(オンライン)	6月1～3日(水～金)	日本コンピュータ化学会	080-2388-0894 scejoffice@scej.net https://www.scej.net/events/nenkai/2022sp/
第65回粉体入門セミナー I (オンライン)	6月2～3日(木～金)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
2022年度界面コロイドラーニング 第38回現代コロイド・界面化学基礎講座(オンライン)	6月2～3日(木～金)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6163 jigyokukaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202203/learning-38th/
第244回西山記念技術講座 「基礎から振り返る先端鉄鋼材料学」(オンライン)	6月3日(金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3775-9533 (03-3775-9534) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama243.html
日本膜学会第44年会(東京都)	6月9～10日 (木～金)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://maku-jp.org/symposium/
混相流レクチャーシリーズ47(オンライン)	6月15日(水)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/
第33回年次大会(東京都)	6月15～16日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第11回 JACI/GSC シンポジウム(オンライン)	6月15～16日 (水～木)	公益社団法人新化学技術推進協会	03-6272-6880 (03-5211-5920) jacigsc11@jaci-gsc.com https://jaci-gsc.com/11th/
第66回粉体入門セミナー II (オンライン)	6月21～22日 (火～水)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
第34回バイオエンジニアリング講演会(福岡県)	6月25～26日 (土～日)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7610 bioconf22@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf22/index.html

第9回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都/オンライン)	7月1日(金)	公益社団法人 日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2022@pacmice.jp https://ez-entry.jp/basic-lecture2022/entry/
第67回粉体入門セミナーⅢ(オンライン)	7月6~7日(水~木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月6~8日(水~金)	(公社)日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第32回環境工学総合シンポジウム2022(香川県)	7月7~8日(木~金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2022@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env22
第26回動力・エネルギー技術シンポジウム(佐賀県)	7月13~14日(水~木)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) pesymp2022@jsme.or.jp https://www.ioes.saga-u.ac.jp/ex-event/PES26/index.html
メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022(東京都)	7月20~22日(水~金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/tokyo2022/index.html
9th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT9)(福岡県)	7月24~29日(日~金)	触媒学会	092-802-6711 (092-802-2871) tocat9@catsj.jp https://tocat.catsj.jp/9/
第39回エアロゾル科学・技術研究討論会(神奈川県)	8月3~5日(水~金)	日本エアロゾル学会	(03-5227-8632) jaast-touron@conf.bunken.co.jp https://www.jaast.jp/new/home-j.html
ICYRAM2022(福岡県/オンライン)	8月3~6日(水~土)	日本MRS	092-802-2755 icyram2022@gmail.com https://icyram2022.wixsite.com/official-site
第31回日本エネルギー学会大会(東京都)	8月4~5日(木~金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai31sanka@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/833/
日本混相流学会混相流シンポジウム2022(東京都)	8月19~21日(金~日)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/
2022年度工学教育研究講演会(東京都)	9月7~9日(水~金)	日本工学教育協会, 関東工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2022_jsee_conference@jsee.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2022/top
The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22)(北海道)	9月11~16日(日~金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) ivc22@jvss.jp https://ivc22.org/
地盤技術フォーラム2022(東京都)	9月14~16日(水~金)	産経新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) info2022@sgrte.jp http://www.sgrte.jp/
第38回ファジィシステムシンポジウム(FSS2022)(東京都)	9月14~16日(水~金)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2022_committee@mlsv.kochi-tech.ac.jp http://fss.j-soft.org/2022/

日本流体力学会年会2022(京都府)	9月27～29日 (火～木)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2022/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム／ 英語名：The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates(SynOre2022)(島根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com https://synore2022.com/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/

化学工学会第53回秋季大会開催案内・講演募集

会場：信州大学 長野(工学)キャンパス(〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1)
(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)

会期：2022年9月14日(水)～9月16日(金)

講演申込期間：2022年5月6日(金)～6月15日(水)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

要旨提出期間：2022年7月1日(金)～8月17日(水)23:59必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/53f/>

化学工学会第53回秋季大会は、2022年9月14日(水)～16日(金)の3日間、信州大学 長野(工学)キャンパスにおいて開催されます。(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。ただし新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催に変更される可能性があります。)本年秋季大会では、本会外からの招待講演を多く含む「特別シンポジウム」(講演発表非公募)、部会が中心となって提案した「部会横断型シンポジウム」、「部会シンポジウム」など、多くの企画を実施いたします。該当するシンポジウムが不明の方は、化学工学会第53回秋季大会実行委員会(inquiry-53f@www3.scej.org)にご相談下さい。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従って下さい。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成して下さい。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。また講演要旨は、参加登録者(参加費支払済みの方)に、大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。)

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、双方向ライブ配信を併用した「オンライン・オンサイト併用開

催]で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第53回秋季大会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。

注意点

○各セッションの開催形態と発表可否の選択について

本大会では、双方向ライブ配信で実施するセッションを含め、全ての講演をインターネット配信します。オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の環境準備(カメラ、マイク：PC付属のものでも可；ヘッドセットマイクが望ましい)が必要となります。また、発表内容は自動公衆送信による再送信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

口頭セッションの一部は双方向ライブ配信での実施となる予定です。ライブ配信会場はオーガナイザーが指定した場所となり、長野以外となる場合もあります。双方向ライブ配信会場にご来場いただける参加者(登壇者・司会等)は、当該セッションに関してはZoomに関する準備は不要です。

なお、開催形態、オンライン参加・オンサイ

ト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。このことについて大会参加登録の際に同意いただきます。

つきましては、講演申込の際に、オンラインでの発表が可能かどうかをご選択いただきます。(双方向ライブ配信で計画されているセッションであっても、オンライン実施に変更となる可能性があるため同様にご回答下さい。)オンラインで発表が難しい場合、代替発表環境(PC貸出もしくはネット環境用意)にて発表可能かどうかをご選択いただきます。詳細は大会Webをご覧ください。

○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得て下さい。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力下さい。

(※上席化学工学修士、化学工学修士、化学工学修士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載下さい。

○**口頭発表時投影資料**、ポスター掲示資料の使用言語について
 学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。
 学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

特別シンポジウム

本大会では、本会外からの招待者を多くお招きする「特別シンポジウム」を開催します。
 ※通常、講演発表の公募は行いません。
 ※テーマ、詳細な内容、開催日等は大会 Web サイトでご確認下さい。

講演発表申込

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。
 化学工学会
 正会員(名誉会員を含む)
 学生会員
 教育会員
 海外会員(正会員、連携会員、学生会員)
 法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員
 部会個人賛助会員
 部会法人賛助会員に属する社員
 共催学会の個人会員
 特別講演者および招待講演者、依頼講演者
 中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHe)、台湾化学工学会(TwICHe)、ドイツ化学工学会バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHe)の個人会員
 上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会本部Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。
 2) 講演内容は未発表のものに限ります。

○申込方法

講演を希望される方は、大会 Web サイトからお申込下さい。講演申込期間は、2022年5月6日(金)から6月15日(水)23:59までです。大会 Web サイトからの申込に限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承下さい。
 講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要なとなりますので、大切に保管して下さい。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会 Web サイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。
 なお、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。
 ○**申込時の注意事項**
 * 講演申込期間以外は受理できません。
 * JISコードのない日本語文字は使用しないで下さい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないで下さい。
 * 講演申込1件分を1つずつ送信して下さい。
 * 二重送信は絶対にしないで下さい。
 * 申込内容に不備がある場合にはその内容が送

信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
 * 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。
 * プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
 * 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態が生じることが予測されます。余裕をもってお申込下さい。
 * 大会 Web サイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

講演申込時には、講演を希望するシンポジウム、セッション番号を指定して下さい。
 一覧は大会 Web サイトにてご確認下さい。

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2022年7月1日(金)から8月17日(水)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会 Web サイトから提出(アップロード)して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム(大会 Web サイト、講演要旨集、冊子)に反映されないことがあります。

大会 Web サイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用下さい。

- 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)して下さい。大会 Web サイトではカラーで掲載されます。
- 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし、20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 原稿1ページの書式は以下を基準とします。
 全体体裁:2段組み、24字×49行×2段=2,352字、段間の間隔6mm
 マージン:上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
 字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦254mmの中に全内容を納めて下さい。
- 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいて下さい。
- 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。

(例)(信州大)○(正・技士)化工一郎*・(学)長野花子・若里太郎
 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学会修習士:修習、化学工学技士(基礎):技基、化学工学技士:技士、首席化学工学技士:上技。
 (例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
 8) 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページの原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

(PDFファイルに関する注意点)

- ファイルサイズは1,229kB以下にして下さい。
- セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)して下さい。
- PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会 Web サイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されません)。
- 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

(講演要旨原稿提出時の注意事項)

* 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演共に、大会 Web サイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
 * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会 Web サイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3ヶ月後です。

発表形式

発表方法の詳細については大会 Web サイトに掲載いたします。必ずご確認下さい。

特許上の新規性の保護

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会によ

る、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト (<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>) をご確認ください。また、第53回秋季大会の講演要旨公表日は2022年8月31日(水)です。

広告・プロモーションビデオ・オンライン展示の募集(予告)

プログラム集冊子広告、バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載等を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

問合せ先

化学工学会第53回秋季大会実行委員会
E-mail : inquiry-53f@www3.scej.org

部 会 C T

LOPA 翻訳発刊記念講演会 webのご案内

主催 化学工学会安全部会

日時 2022年6月14日(火)14:00~17:00
場所 web Teams
出版社 丸善出版(株)

1970~1980年代に起きた重大事故を契機として、欧米ではライフサイクルを通じた安全管理の仕組みとして、PSM (Process Safety Management) が導入されてきました。日本でも、近年PHAの重要性が認識され、HAZOPが継続的に実施されるようになってきました。

米国CCPSは、2001年に、CCPS Concept Bookとして、『Layer of Protection Analysis: Simplified Process Risk Assessment』を出版しました。LOPAは、PHAの結果を、IPL設計にフィードバックし、IPLの健全性を評価して、ライフサイクルを通じ

たPDCAサイクルを構成するための一つの方法です。今後、リスクアセスメントとして、一貫した論理体系を、日本のPSMの中に構築してゆこうと、重要な考え方の一つで、LOPAの日本語翻訳『重大事故のリスクを下げるLOPA-防護層解析 簡素化したプロセスリスクアセスメント』は、必ずやその一助となることが期待されます。

日本が、PSM、技術、安全スコアにおいても、世界をリードするようになることを願い、その参考になれば、幸いです。

講演内容

- 1) 基調講演：LOPA 翻訳の意義と今後の展開 (30分)
安全部会部会長 瀧野哲郎
- 2) 住友化学におけるLOPA活用の現状 (40分)
住友化学(株) 和田祐典
- 3) 出光興産におけるLOPA活用の現状 (40分)
出光興産(株) ラーマン ミザル

- 4) LOPAの現状と今後の期待 (40分)
元東洋エンジニアリング(株) 角田 浩
 - 5) 総合質問20分
司会 静岡大学 武田和宏
- ★交流会はございません。

定員 先着100名

参加費 聴講料は1グループ(又は1名)9,000円。書籍は1冊税別11,000円となります。新刊書籍は税別13,000円のところ、講演会特別価格として税別11,000円と致します。

問合せ先 公益社団法人 化学工学会 安全部会 事務局 南川忠男

下記URLからメールアドレスによりご送信ください。

<http://www2.scej.org/anzen/contact/>

その他の連絡手段

E-mail : scej-minamigawa@ozzio.jp

地 域 C T



関 東 支 部

第12回ファインバブル技術講習会 化学工学分野における ファインバブル研究の進展

主催 日本混相流学会、化学工学会関東支部
協賛 化学工学会粒子・流体プロセス部会、化学工学会反応工学部会、日本ソノケミストリー学会、ファインバブル産業会、ファインバブル学会連合、開発型企業の会、近畿化学協会、分離技術会、日本化学会、日本機械学会、日本レオロジー学会、日本食品工学会、日本食品科学工学会、日本原子力学会、環境放射能除染学会、電気化学会、日本セラミックス協会、土壤物理学会、日本海水学会、ファインバブル地方創生協議会、日刊工業新聞社(交渉中の団体を含みます)

2017年に国際標準化(ISO)においてファインバブルの基本規格「ファインバブルの使用と計測に関する一般原則」が日本提案のもと発行され、気泡径100μm未満の気泡をファインバブルと呼称することが規格化されました。このファインバブルは身近に見られるmmやcmサイズの気泡

とは著しく異なる物理的・化学的性質を顕在化させるため、幅広い産業分野への応用研究が始まっています。本講習会では、「化学工学分野におけるファインバブル研究の進展」をテーマとし、学術界と産業界から7件のご講演をいただきます。なお、例年、本講習会ではファインバブルに関する企業実演展示を行っておりますが、今年度はコロナ禍によるオンラインセミナーのため、それに代わる内容としてお昼の時間に企業紹介ビデオ等をご用意いたしました。お食事をされながら、是非、ご覧ください。

日時 2022年6月16日(木)9:50~16:30
会場 オンライン

プログラム

1. 開会挨拶(9:50~10:00)
日本混相流学会・関西大学 細川茂雄氏
2. 基調講演 ファインバブル有機化学：革新的多相系反応によるグリーンものづくり(10:00~11:00)
静岡大学 間瀬暢之氏
3. 招待講演 ファインバブルの晶析プロセスへの応用(11:00~12:00)
日本大学 松本真和氏
4. 企業紹介[ビデオ](お昼休み)(12:00~13:00)
①IDEC(株) ②(有)OKエンジニアリング ③(株)サイエンス ④(株)シバタ ⑤(株)富喜製作

所 ⑥西日本高速道路エンジニアリング関西(株) ⑦(株)ワイビーエム

5. 企業講演 ウルトラファインバブルクーラントを用いた研削加工の高精度・高能率化(13:00~13:25)
IDEC(株)ファインバブル事業部 小林秀彰氏
6. 企業講演 ファインバブルと工作機械-金属加工へのファインバブルの導入について-(13:25~13:50)
(有)OKエンジニアリング 松永 大氏
7. 企業講演 ファインバブル発生装置「シバタエンジン」の産業応用履歴と今後の展開(13:50~14:15)
(株)シバタ ファインバブル事業部 鈴木大樹氏 休憩(14:15~14:25)
8. 招待講演 分子膜被覆によるファインバブルの安定化と機能化(14:25~15:25)
佐世保工業高等専門学校 田中泰彦氏
9. 招待講演 ソノケミストリーへのファインバブル応用(15:25~16:25)
東京電機大学 小林大祐氏
10. 閉会の挨拶(16:25~16:30)
化学工学会関東支部・東京工業大学 大友順一郎氏

募集人員 100名

参加費 正会員(協賛団体含む)6,000円、法人会員(協賛団体含む)8,000円、会員外10,000円、

学生会員（協賛団体含む）3,000円、関東支部サロメンバー 4,000円
（それぞれの参加費には消費税・テキスト＜電子ファイル＞代が含まれます）

参加費支払方法

受付後参加証と共に送る振込用紙（手数料無料）、又は銀行振込にて事前にお振込み下さい。当日になってのキャンセルの場合は、参加費をご請求させていただきます。なお、お申込みいただいた個人情報につきましては、厳正管理を行い、今回および今後のフェイナブル技術講習会並びに関連する行事案内への使用に限らせていただきます。

申込方法 Web、メール又はFAXにてお申込みください。

・Web申込

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「要確認」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上ご送信ください。

・Fax、E-mailによる申込

下記関東支部事務局宛「第12回フェイナブル技術講習会」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、TEL、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。又は申込書に所定事項を記入の上、事前にご記入までお送り下さい。

申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部 事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

E-mail：info@scej-kt.org



東 海 支 部

第15回機器分析講習会

主催 公益社団法人化学工学会東海支部
協賛 (予定)静岡化学工学懇話会他
協力 マイクロトラック・ベル(株)、(株)リガク、日本電子(株)、(株)鳥津製作所、(株)東陽テクニカ

卒業研究を始める4年生や修士学生、実際に分析機器を使用している企業の担当者を対象に、経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して、分析機器の操作方法や計測手法、日常メンテナンスやノウハウを学び、研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。講義終了後に質問コーナーを設けますので、日常の分析で疑問に思っていること、こんな分析をしてみたい、今使用している機器の消耗品などに関する情報を得たいなどを気軽に質問や相談してください。

日時 2022年6月20日(月)13:30～17:00

※本講座は、ビデオ会議ツールZoomの「ブレイクアウトルーム」を使用したライブ配信(5コースを同時進行)で開催します。

講習会の内容

- 比表面積・細孔分布評価コース**
講師：マイクロトラック・ベル(株)
ガス吸着法によって触媒などの様々な固体材料の比表面積・細孔分布を測定し評価する基本を説明した後に、データ解析方法、様々な評価事例などの応用についても講義します。
- X線回折(XRD)コース**
講師：(株)リガク
X線回折法の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、安定した測定に対するノウハウ、などについて講義します。
- 走査電子顕微鏡(SEM)コース**
講師：日本電子(株)
走査電子顕微鏡の基本を説明した後に、測定に対する留意点や測定試料の作製法、データ解析方法、測定に対するノウハウなどについて講義します。また、エネルギー分散形X線分析装置など、関連する表面分析についても講義します。
- 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース**
講師：(株)鳥津製作所
HPLCの基本を説明した後に、日常分析に対する留意点、日常のメンテナンス方法、簡単なトラブルシューティングなど、HPLC使用のノウハウについて講義します。
- 電気化学インピーダンス測定コース**
講師：(株)東陽テクニカ
電池や腐食、塗膜などの評価に用いられる電気化学インピーダンス測定の原理を説明した後に、等価回路に置き換えて解析する方法などについて講義します。また、二次電池の

測定に適用できる最新の測定・解析手法を紹介いたします。

募集定員 各コース80名（申込者数が最少催行者数に到達しない場合は、中止する場合があります。）

参加方法 参加者はZoomの推奨環境をご参照頂き、アプリケーションを事前にインストールしてください。インストール後、必ず最新版にアップデートしてください。旧バージョンの場合、ブレイクアウトルームへご参加ができないことがあります。参加者にはZoomミーティングルームのURLをご連絡しますので、当日は各自でZoomミーティングルームのブレイクアウトルーム内にあるご希望コースに移動してください。その他、受講に関する注意事項は、別途メールでご案内させていただきます。

参加費(含消費税・含テキスト代)

正(個人)・法人会員会社社員	2,000円
非会員/一般	4,000円
学生(会員/非会員)	無料

※協賛学会の会員の方は、化学工学会会員の参加費に準じます。

※テキストには5コース全ての内容が含まれています。

申込方法 下記ホームページ「機器分析講習会」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

送金方法 銀行振込または郵便振替(ゆうちょ銀行)

銀行振込：みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521 公益社団法人化学工学会東海支部
郵便振替：名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部

申込・送金締切 2022年6月6日(月)

受講方法 申込・送金を確認できた後、開催日の3～5日前を目安として、受講用URLと講義資料を配信します。Webを閲覧できるデバイスで受講してください。

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

公益社団法人化学工学会東海支部

TEL：080-4525-3070